

① 伐採方法が皆伐の場合の伐採に係る森林の状況報告

(別記様式第6号)

伐採に係る森林の状況報告書

令和〇年〇月〇日

府中市長様

住所 府中市府川町〇〇

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

※法人にあつては、名称及び代表者の氏名

伐採の期間の末日から30日以内にご提出ください。

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

- ・登記事項証明書等に記載の字までご記載ください。
- ・伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全てご記載ください。

府中市 〇〇 町 〇〇 字 〇〇 地番 〇〇、〇〇

2 伐採の実施状況

伐採届の「伐採の計画」に基づきご記載ください。

伐採面積	2.00ha(うち人工林2.00ha、天然林 ha)		
伐採方法	皆伐 択伐	伐採率	100%
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	ヒノキ		
伐採齢	50年(年~ 年)		
伐採の期間	令和〇年〇月〇日~令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の幅員・延長	幅員 3 m	延長	500 m

3 備考

相続等により伐採届とは異なる森林所有者が提出する場合は、当該相続等に係る情報をご記載ください。

令和〇年〇月〇日に〇〇 〇〇から相続(共有者:〇〇 〇〇ほか〇名)

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくるまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。

② 伐採方法が択伐の場合の伐採に係る森林の状況報告

(別記様式第6号)

伐採に係る森林の状況報告書

令和〇年〇月〇日

府中市長様

住所 府中市府川町〇〇

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

※法人にあつては、名称及び代表者の氏名

伐採の期間の末日から30日以内にご提出ください。

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

- ・登記事項証明書等に記載の字までご記載ください。
- ・伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全てご記載ください。

府中市 〇〇 町 〇〇 字 〇〇 地番 〇〇、〇〇

2 伐採の実施状況

伐採届の「伐採の計画」に基づきご記載ください。

伐採面積	2.00ha(うち人工林2.00ha、天然林 ha)		
伐採方法	皆伐 択伐	伐採率	40%
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	ヒノキ		
伐採齢	50年(年~ 年)		
伐採の期間	令和〇年〇月〇日~令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の幅員・延長	幅員 3 m	延長 400 m	

3 備考

令和〇年〇月〇日に〇〇 〇〇から相続(共有者:〇〇 〇〇ほか〇名)

相続等を原因として森林所有者が代わっている場合は、その相続等の情報等を記載してください。

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。

③伐採後に森林以外の用途に供されることとなる場合の伐採に係る森林の状況報告

(別記様式第6号)

伐採に係る森林の状況報告書

令和〇年〇月〇日

府中市長様

住所 府中市府川町〇〇

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

※法人にあつては、名称及び代表者の氏名

伐採の期間の末日から30日以内にご提出ください。

年 月 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

- ・登記事項証明書等に記載の字までご記載ください。
- ・伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全てご記載ください。

府中市 〇〇 町 〇〇 字 〇〇 地番 〇〇、〇〇

2 伐採の実施状況

伐採届の「伐採の計画」に基づきご記載ください。

伐採面積	0.50ha(うち人工林 0.50 ha、天然林 ha)		
伐採方法	皆伐	択伐	伐採率 100%
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	ヒノキ		
伐採齢	60年(年~ 年)		
伐採の期間	令和〇年〇月〇日~令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の幅員・延長	幅員 3 m	・ 延長 100 m	

3 備考

伐採後に宅地造成を予定(転用予定時期:令和〇年〇月)

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくるまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。

伐採後の用途が森林以外(転用)である場合、その用途及び時期を記載する。

④ 造林方法が人工造林の場合の造林に係る森林の状況報告

(別記様式第7号)

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

造林の期間の末日から30日以内にご提出ください。

令和〇年〇月〇日

府中市長様

報告者

住所 府中市府川町〇〇

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

※法人にあつては、名称及び代表者の氏名

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

- ・登記事項証明書等に記載の字までご記載ください。
- ・伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全てご記載ください。

府中市 〇〇 町 〇〇 字 〇〇 地番 〇〇、〇〇

2 伐採後の造林の実施状況

伐採届の「造林の計画」に基づきご記載ください。

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林	植栽	RO.O.O	スギ	1.00ha	2,000本	〇〇森林組合	幼齢木保護具の設置
		RO.O.O	ヒノキ	1.00ha	2,000本		
天然更新							

3 備考

令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇から相続（共有者：〇〇〇〇ほか〇名）

相続等を原因として森林所有者が代わっている場合は、その相続等の情報等を記載してください。

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 7 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 8 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

(裏面) 伐採後の造林に係る森林の状況報告書

以下のとおり更新していることを報告します。

- ① 伐採跡地が全体的に更新されています。
- ② 後継樹は、更新対象樹種の稚樹の樹高が30cmを上回っています。
- ③ 後継樹が草本等の草丈を超えて、概ね2,000本/ha以上成立しています。

1 造林地全景の遠景(数枚に分けて可)

2 更新樹種の生育状況(代表的な樹種の樹高や成立本数がわかる近景)

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)その他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 6 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合には、ぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 7 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 8 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにすること。資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

⑤ 造林方法が天然更新の場合の造林に係る森林の状況報告

(別記様式第7号)

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

造林の期間の末日から30日以内にご提出ください。

令和〇年〇月〇日

府中市長様

報告者

住所 府中市府川町〇〇

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

※法人にあつては、名称及び代表者の氏名

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

- ・登記事項証明書等に記載の字までご記載ください。
- ・伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全てご記載ください。

府中市 〇〇 町 〇〇 字 〇〇 地番 〇〇、〇〇

2 伐採後の造林の実施状況

伐採届の「造林の計画」に基づきご記載ください。

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林				ha	本		
天然更新	ぼう芽更新、天然下種更新	RO.O.O	クヌギ	2.20ha	4,400本		防護柵の設置
		RO.O.O	その他広葉樹	1.10ha	別添のとおり		

3 備考

令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇から相続（共有者：〇〇〇〇ほか〇名）

相続等を原因として森林所有者が代わっている場合は、その相続等の情報等を記載してください。

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 7 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 8 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

(裏面) 伐採後の造林に係る森林の状況報告書

以下のとおり更新していることを報告します。

- ① 伐採跡地が全体的に更新されています。
- ② 後継樹は、更新対象樹種の稚樹の樹高が30cmを上回っています。
- ③ 後継樹が草本等の草丈を超えて、概ね2,000本/ha以上成立しています。

1 造林地全景の遠景(数枚に分けて可)

2 更新樹種の生育状況(代表的な樹種の樹高や成立本数がわかる近景)

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)その他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 6 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合には、ぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 7 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 8 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにすること。資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。